

# 恩賜賞

桂 由美

## 功績概要

ブライダルという言葉が未だ一般的でなく、結婚式でドレスを着用する花嫁が3%しかなかった昭和40年に、日本初のブライダル専門店を東京赤坂にオープンし、ブライダルファッションデザイナーとして活動を開始。以来、日本におけるブライダルファッション界の第一人者として結婚式におけるウェディングドレスというジャンルを確立し、シルクの大きなマーケットを創出した。

ブライダルシーンの創造者として世界各国30以上の都市でショーを行うイベントを通じて夢を与え続け、ブライダル文化を通じた各国との交流や日本の伝統的な婚礼衣装の啓蒙活動にも積極的に尽力し、外務大臣表彰や文化庁長官表彰、中国の新時代婚礼服飾文化賞などを受賞している。

また、着物や帯地の伝統技術のすばらしさを世界にアピールするため、「軽くて薄くて豪華な博多織の祭服」をデザインし、ローマ法王に献上されたのをはじめ、シルクを使ったドレスや着物などのファッションショーを毎年、パリをはじめ世界各地で行うなどの活動を行っており、これらの活動は日本のシルクの美しさ・良さが広く周知されることに大きく寄与してきた。

さらに、最近では遺伝子組換え技術によって作られたカイコが作る蛍光シルクを使ったウェディングドレスの試作・展示を行うなど新たな養蚕業の展開にも積極的に支援を行っており、我が国の蚕糸業の振興と絹文化の発展に貢献した功績は、特に偉大である。